

<第七回 照明について> (2024.02.25 インタビュー)

今回は、第七回ということで、「照明について」というテーマで話を聞いてみました。

一聞き手：こんばんは。今回は照明についてお伺いしたいと思います。第一回対談の最後のにも、照明のことを少し話してもらいましたが、今回はより詳しく、お考えを聞かせていただければと思います。

一名誉会長：はい、こんばんは。マジックショーでの照明といえば、舞台全照明のほかに、部分的に当てるスポットライト、背景を作り出すホリゾンがあるね。ただ、照明について語るとしたら、ホリゾンについてだね。ホリゾンは演者のバックスクリーンに雲の絵を映し出したり、草原を映し出したりして、パフォーマンスをサポートするものなんだ。いろいろフィルターがあるんで、好みの背景を選ぶことができるんだけど。ただ、どれがいいか、どれが自分の演技に合うかは、リハーサルの時に柄や色合わせをして決めることになるね。

一聞き手：そうですね。ホリゾンを選ぶ作業は、普段の練習室での練習では確認しようがないものですかね。

一名誉会長：うんそうだね。ただ、ホリゾンを使わなくても、後幕をつかったり、カーテン幕でやったりすることもある。バックに関してはこの3つのパターンがあるだね。

一聞き手：わかりました。まず、ホリゾンについてですが、ホリゾンを使うというのは、マジック発表会では一般的なのですか？

一名誉会長：うーん、私はそう思うんだけど、最近近隣の団体ではホリゾンを使わないところもあるね。もちろん、小さな会場ではホリゾンが備わっていないため、スクリーンの色は手動で変えるのみのところもあるが、たいていのホールはホリゾンがあると思うし、発表会では使っている団体の方が多いと思うね。せっかくホリゾンがあるのに、発表会中ずっと同じ背景、同じものを映している場合もあるけど、それはどうかなと思う。

一聞き手：確かに、自分が見たいいくつかのマジックサークル団体の発表会には、ホリゾンを使わない団体、演者によらずホリゾンが固定されている団体もあ

りました。自分たちの名称やロゴを取り込んだオリジナルのホリゾンデザインのところもありました。ただ全体的にみると、おそらく湘南マジシャンズクラブは積極的にホリゾンを取り入れている方ではないかと思えます。

一名誉会長：まあ、使わない理由には、演者の意見というのもあると思うんだけどね、どういう雰囲気演技をしたいかという。ただ、注意することとして、使えばいいというものでもない。例えば背景を動かすのはマジック発表会ではよくない気がしますね。どうしても人は動く方に視線が行ってしまうので、注意がマジックからそれてしまう。だから基本は動かない方がいいね。さらに、あまりごちゃごちゃしたバックもよくないね。どういうデザインのホリゾンがいいかは、自分の演技と合わせてみないとわからないけど、これはリハーサルの時にしかできないので、その時にしっかりやっておいた方がいいね。「ホリゾンは業者にお任せ」ということもできなくはないけど、同じ使用料を払うのであれば、よりよいショーを作るためにもホリゾンには気を使った方がいいね。

一聞き手：ホリゾンは大事なのですね。

一名誉会長：ほかに、前照灯をどう使うかというのもある。そしてスポットライトは必要か、さらにはムービングスポット（演者が動くときに、演者を追いかけて照らすスポットライト）を使うかも考えた方がよい。ただ、ムービングスポットを使う時は、操作する技師が1名追加されるので、3万円ほどかかる。そのため、演者の希望と、発表会の予算との間で調整が必要だね。

一聞き手：きちんと選べば、ホリゾンは使った方が良さそうですが、逆に使わない方がよい演技というのはありますか？

一名誉会長：ホリゾンを使わずに黒幕（後幕、バック幕。ステージ後ろの白壁を隠す黒い幕）で演技した方がいい場合ももちろんある。例えば、ミリオンカードなどは、バックが黒の前で白いカードを出した方が映えるね。また、シルクマジックの場合は、ホリゾンを強くすると色彩が複雑になって醜くなる場合がある。その場合はホリゾンをシンプルにするか、いっそ黒幕の前で行った方がいいね。あとは、話が少し違うけど、次の演技の準備に時間が必要といった場合は、幕の後ろで準備をしないとイケないので、必然的にホリゾンを使わず黒幕の前で演技をすることになる。そう思うと、演者の好みだけでなく、演技内容や出演順序なども関係関係にあるので、いろいろ考えることになるね。

—聞き手：そう思うと、リハーサルではいろいろ確認しないといけないですね。

—名誉会長：そうだね。毎回、発表会の前日の午後から夜にリハーサルは行うけど、このホリゾントの確認、そしてスポットライトも含めて照明の確認というのは、舞台上でないとできないからね。

—聞き手：演技内容、BGM の雰囲気から、ある程度は事前に決めることはできますか？

—名誉会長：そうだね。イメージは持っていた方がいい。ただ、頭で考えたのと実際に舞台に立った時ではだいぶ違うので、リハーサルの時に、ホリゾントと演技の雰囲気を確認することはすごく大事なんだね。例えばだね、リンキングリングはキラキラ光るリングの演技なので、バックは黒がいいという人もいるんだけど、きちんとホリゾントを選ぶことにより、演技の雰囲気がさらに良くなる場合もあるからね。

—聞き手：なるほど、わかりました。今後、リハーサル時に確認すべきことについて、確認する機会を考えておりますので、詳細はその時にお願いします。本日はありがとうございました。

(終わり)

※次回は「直前集中練習について」とします。発表会に向けて、直前 2 か月は、通常の定期講習会をやめて、すべて発表会練習に費やすこととなります。この期間でどのような練習をするべきかを伺う予定です。